

【アンケート項目について】

昨年度、アンケート内容を一部変更しましたので、本年度は昨年度の結果と比較するために、昨年度と同じアンケート項目で実施しています。

お示したグラフは、保護者の方々に回答していただいた「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」「わからない（無記入を含む）」の5つの選択肢の割合を示したものです。グラフについて、「そう思う」「だいたいそう思う」をプラス評価、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」をマイナス評価としています。

【保護者の集計結果より】

本年度は、多くの項目でプラス評価が80%以上になっています。プラス評価が80%未満の項目は、質問(1)と質問(13)の2項目で、昨年度と同じです。

質問(1)に関しては、学校からの情報発信をさらに増やしてほしいという思いが伝わってきます。本年度からFacebookを立ち上げたり、学部通信、学級通信、連絡帳等を活用して子どもたちの様子をお伝えしたりしてきましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症への対応の必要性から、参観日、学部懇談会も少なく、保護者の方々と直接お話する機会が設定できなかったことも影響していると思います。感染状況を考慮しながら可能な範囲で、PTAの行事も含め、対話の機会を拡充していきたいと思います。

質問(13)の地域資源の活用については、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域や大学の活用が難しい状況が続きました。どのようにすれば活用が可能となるのかを考え、できるだけ対応したいと思います。

また、昨年と比較してマイナス評価が増えている項目は、質問(2)、質問(5)、質問(9)です。

質問(2)は、昨年度のアンケート実施時期がちょうど改修工事の終了時期であったため、多くの方が教育環境の整備を喜ばれ、評価がとても高かったと思われます。

質問(5)と質問(9)は、参観日や学部懇談の機会が少なく、参観も短い時間で教室の外からという状況の中で行いましたので、普段の日常生活の指導や挨拶、マナー等の指導場面、授業場面、販売の場面等を見ていただくことができなかったことも原因の一つと考えられます。来年度は、感染状況にもよりますが、できるだけゆったりとした参観時間の確保に努めたいと思います。

質問(6)、質問(10)、質問(12)は、いずれもプラス評価が90%を大きく越えています。保護者の方々としっかり子どもたち一人ひとりについて、情報を共有するとともに、授業計画や授業目標を説明し、達成状況を丁寧にお伝えしていると評価していただいていると思います。また、新型コロナウイルス感染症対策に学校でもしっかりと取り組みましたが、保護者の皆様にもご協力いただいた成果だと思っています。良かった点については、引き続き努力していきたいと思います。

【教職員の集計結果より】

教職員のアンケート集計結果からは、多くの項目でプラス評価が80%以上になっています。プラス評価が80%未満の項目は、質問(8)と質問(13)の2項目で、昨年度と同じです。

質問(8)に関しては、昨年度はマイナス評価の方がプラス評価より高くなっていましたが、今年度は教員の他学部参観等を積極的に行ったこともあり、全体的な評価は改善しています。各教員が日常的に相互に情報交換をしようとする姿勢は見られるものの、機会の不足や時間的余裕のなさなども伺えますので、可能な改善に努めていきたいと思います。

質問(13)は、昨年度よりもマイナス評価は減少していますが、教職員も、保護者の方々と同様、新型コロナウイルス感染症対応のために活動が制限された影響を感じているものだと思います。

その他の項目については、昨年度より評価が高くなっています。本校の学校力、教育力を向上していくためには、今後も教職員のチームとしての連携協力、専門性の向上のための研修は不可欠と考えます。昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策で見通しのもちにくい1年間でした。本年度は、昨年度の経験を生かして、実施の可否の判断時期や安全・安心な実施方法について、感染状況に応じた対応を、ある程度想定することができ、見通しを持って準備することができたことから、本校の本来の良さを発揮することができたのではないかと思います。